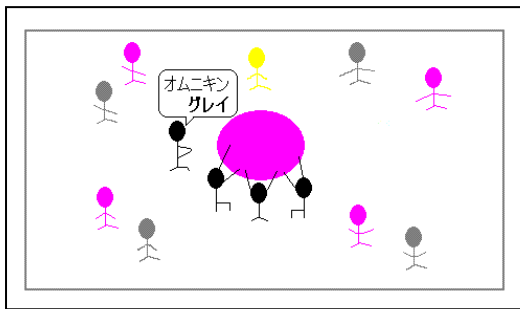


キンボール

概要 直径122cm、重さ1kgの大きなボールを使って、3チームがサーブとレシーブを繰り返して得点を競い合うスポーツ。



対象				場所				時期			
小学校高学年以上				体育館				通年			
期待される活動の効果											
思考力	判断力	表現力	コミュニケーション能力	体力	生命の尊重	感動する心	知識・技能	協調性	主体性	問題解決能力	課題発見能力
	○		○	○				○	○		
活動人数 及び 時間						準備物					
○基本は4人1チーム。交代要員を含め1チーム12人まで登録でき、交代は自由。 ○1ピリオドは7~10分 × 3ピリオド						【青年の家で準備できる用具等】 ○キンボール ○コート（体育館1面） ○得点版 ○ピブス（3色） ○ホイッスル ○ストップウォッチ （団場で準備するものではありません）					

【競技方法】

- ①チーム毎に色分けをし、ジャンケンでヒット（サーブ）権を決める。
- ②ヒット権を取ったチームは、コートの中央（ゲーム開始時・ピリオド開始時のみ）で、ヒッター以外の全員がボールを支える。他の2チームはコート内全てを守れるように守備につく。
- ③試合の開始はレフリーの合図（ホイッスル）による。
- ④ヒットチームの1人が、必ず「オムニキン」と言い、続けて「レシーブチームの色（自チーム以外）」を大きな声でコールしてからヒット（腰より上のみを使用し、手や腕などでボールを打撃）する。
- ⑤ヒットされたボールは、指定された色のチームが床に落ちる前にレシーブ（キャッチ）する（全身使用可）。
- ⑥レシーブ成功後、自チーム以外のどちらかに同様にヒットする。レシーブに失敗したときは、失敗したチームが失敗したところからヒットして再開する。

【その他のルール及び留意点】

- ヒット、またはレシーブに失敗したチーム以外の2チームに1点入る。
- 第2、第3ピリオドのスタートは、前のピリオドまでの点数が最も少ないチームがヒット権を得る。同点の場合はジャンケン。
- ヒットの瞬間は、メンバー全員がボールに触れていなければならない。
- 1人のプレーヤーが続けて2回ヒットできない。
- ヒットは、床と水平以上の角度で1,8m以上飛ばさなければならない。
- ヒットするときは、「オムニキン」という言葉と相手の色のコールは全員に聞こえるように言わなければならない。

【活動のオススメポイント】

- クラス全員の参加が可能で、試合時間も30分（1ピリオドは7~10分）と手ごろ。
- 巨大なボールをみんなで扱い、ヒット時レシーブ時には全員が触らなければならない、協調性が生まれる。
- ヒットする選手は2回続けては打てない、打つときは大きな声を出すなど、全員が主体的に参加できる。

